



公立学校共済組合  
四国中央病院

日本医療機能評価機構認定病院

# しこく

ホームページアドレス <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>

第53号

2013年12月

住所: 愛媛県四国中央市川之江町2233番地 TEL(0896)58-3515 FAX(0896)58-3464



## 今月のまぐさ

◇巻頭言 病院の最近の動き .....	副院長・整形外科部長 寒川晃顕	2・3
◇特集1 産婦人科病棟改修について .....	産婦人科部長 田村貴央	4・5
◇特集2 オープンホスピタル .....	教育研修委員会	6
◇新任職員紹介 .....		7・8
◇表紙の言葉 .....		8
◇編集後記 .....		8

病院理念

【真心・信頼・連携・思いやり】

広報誌

しこく

第53号 発行平成25年12月27日  
編集 四国中央病院広報・年報委員会  
e-mail s-tyouu@shikoku.ne.jp

## 病院の最近の動き

公立学校共済組合四国中央病院

副院長 寒川 晃 顕



### はじめに

社会環境の構造変化と少子・高齢化社会への急速な進展によって、病院は安全・安心で質が高く、そして高度な医療を求められています。そのような状況の中で、当院は地域医療の再生と充実に取り組んできました。県立三島病院の民間移譲を受け、2010年4月から、四国中央病院（本院）と三島医療センター（分院）での診療が開始されましたが、本年4月に鎌田正晴病院長が着任し、中核病院建設に向けての準備を進めているところであります。

新病院長が赴任して新体制になり半年が経過しましたので、この間における病院のおもな動きを報告したいと思います。

### 認知症疾患医療センターの開設

センターは4月1日に愛媛県の指定を受けましたが、7月1日には厚労省（国）の指定に変更になりました。その役割は、認知症の方やその御家族が、住みなれた地域で安心して生活できるよう、地域における認知症医療水準の向上と連携体制の強化を図り、認知症の早期発見・早期治療に繋げることです。

業務としては、かかりつけ医、本人、家族からの認知症に関する医療相談を電話及び面談で対応しています。初期診断、鑑別診断、治療方針の選定、状況に応じて適切な医療機関への紹介も行っています。また、「もの忘れ診断地域連携パス」を作成し、患者さんと家族、かかりつけ医、病院間で情報を共有し、地域の医療機関が連携して認知症患者さんの診断治療を継続できる環境づくりも予定しています。

### 小児二次救急の広域輪番制のスタート

東予東部地域の新たな小児2次救急体制は、8月1日から開始しました。3市（四国中央市、新居浜市、西条市）の4病院（四国中央病院、県立新居浜病院、住友別子病院、西条中央病院）が、3班に分かれて交代で毎日診察する体制です。医療圏域を越えた輪番制は、県内で初めての導入です。広域輪番体制の目的は、3地域が連携して少ない医療資源でベストな医療を提供することです。今までは、内科・外科系の二次輪番救急システムに小児も含まれていましたので、病院によっては小児科の対応が難しく、市内で



の対応が困難な場合もありました。今後は小児の独立したシステムがスタートすることにより、広域ではありますが、小児の二次救急に関して確実に対応可能となります。今後も3地域の連携を密にして、よりよいシステムの発展を目指します。

## 産科病棟の改修

北2階病棟は、主に産婦人科と内科・整形外科の病棟です。平成18年3月26日からは女性の入院のみを扱う女性病棟になっています。今回、お産件数の増加に伴い、産科病棟の改修工事が行われました。工事は昨年末から開始され、本年の8月10日に完成し、8月14日から運用が開始されています。今回の改修工事により、新生児室の拡張（最高20名の新生児の収容が可能）、LDR仕様の分娩室の増設、そして、個室の増床（和室病室を含む）が行われました。それに伴い、産科病床と一般病床エリアの区分が明確化されました。このように産科における入院設備・環境の改善を行いましたので、妊産婦の方には、今まで以上に快適な入院療養をしていただくことが可能になりました。

## おわりに

4月からの病院のおもな動きを報告しました。当院の看板診療科の精神科、小児科、産婦人科についての状況を述べましたが、今回紹介をしていない診療科においても、さまざまな動きがありました。また、病院では、予てより電子カルテのバージョンアップの準備を進めています。旧カルテからの移行に際して、しばらくの間、患者の皆様にご迷惑をおかけする場合もあると思いますが、何卒ご容赦のほどをお願い致します。

最後に、先日の新聞などマスコミで、当院についての報道がありました。その際には、患者様および関係の皆様方には、大変なご心配とご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。



## 産科病棟の改修について

産婦人科部長 田 村 貴 央

当院は、四国中央市において周産期医療が可能な唯一の病院です。この度、その機能を充実させると同時に、入院される妊婦さんやそのご家族が快適に過ごしていただける環境を整えることを目的に、産科病棟の大幅な改造を行いました。

北2階病棟（女性病棟）のスタッフ総出でアイデアを出し合い、着工の日を迎えました。私自身は正直なところ、師長さんをはじめ助産師さんを中心にしたスタッフの皆に任せっぱなしであり、感謝の言葉もありません。さすがに女性の視点から考えただけあって、実にきめ細やかな配慮がいきわたっており、他のどこにも負けない良いものができあがったと確信しています。新分娩室は連休明けの5月9日から一足先に、その後改修の全工程が終了して、8月14日より新産科病棟での診療がスタートしました。

新産科病棟のコンセプト、目玉は以下の如くです。

- ① 分娩室 3 室すべてが LDR (Labor-Delivery-Recovery：陣痛室のベッドがそのまま分娩台となり、産後の回復まで移動することなく、家族と一緒に過ごすことができるシステム)
- ② 分娩室、新生児室、改修後の病室は 24 時間冷暖房を完備
- ③ 和室 2 室を含む、ほぼ個室のみの病室（個室 14，総室 1）：特に和室はご家族もリラックスできると好評です
- ④ 母乳外来やメディカルアロマセラピーのための診察室：当院は退院してからの母乳育児相談や母乳のケアに力を入れており、他の病院で分娩した方も当院の母乳外来に来ています。必要があれば乳房エコーなど乳腺の専門的な診察を行います。アロマセラピーもアロマ認定助産師を中心として積極的に行っており、リラックスした分娩や産後のストレス緩和につながっています。
- ⑤ 母親学級、パパママ学級、ベビーマッサージなどを開催する多目的ホール、病院スタッフや看護学生がいつも勉強できる環境を備えたカンファレンス室の設置
- ⑥ 小児面会制限の緩和



【陣痛・分娩室】



【母乳外来室】



これまでは陣痛室も大部屋で、産婦さんは陣痛の苦しみの中、さぞ同室の方への遠慮があったらと思います。また偶然分娩が重なってしまった際には、カーテン1枚で仕切られた分娩室で隣同士遠慮しながらの出産、という有様でした。この地区で分娩可能施設が当院だけという現状があるにしろ、患者さんには随分不自由な思いをしていただきましたし、その中でスタッフも本当によく頑張ってきたと改めて思います。

さらに新生児への感染予防という目的から、これまで産科病棟は一律「中学生以下の立ち入り禁止」でした。これに対しては、「生まれた赤ちゃんを少しでも上の子に見せてあげたい」と願うご両親、「家でじっと我慢して待っている子供に少しでも長く会いたい」と願う長期入院の患者さんから、見直しを望む声が多く寄せられていました。この問題を何とか解決できないものかと考え、昨年の夏、全国の国公立大学病院、総合母子周産期医療センターなど140施設に電話アンケートによる実態調査を行いました。その結果、これらの施設の60～70%は何らかの小児の面会制限を設けているものの、条件を限れば十分に容認されることが分かりました。そこで小児科、院内感染対策委員会とも協議を重ね、新病棟の設計の段階から検討を行い、ようやく兄弟に限って新生児室での窓越し面会を許可することができました。生まれたての弟・妹を目を皿のようにして興味津々でみている子供たちを見るたび、こちらも幸せな気持ちになります。



【新生児室前】



【新生児室内】

産科病棟の改革は最初の一步です。より安全で快適な医療環境を目指し、妊娠中から出産、育児まで続く地域の周産期医療に貢献していきたいと考えています。



【産科病棟スタッフ】



## 2013 年度「第 7 回 オープンホスピタル」を開催して

教育研修委員会

8 月 5 日市内高校生を招いてオープンホスピタルを開催しました。将来医療従事者を志す高校生たちへ少しでも病院の“現場”を知ってもらい、地域医療への関心と自分の仕事としての選択するきっかけになっていただければと年 1 回企画しています。今年は市内 3 校より 34 名の参加があり、若き高校生の真剣なまなざしに私たちも刺激を受け一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

ナースのお仕事は…



みんなで記念撮影



各職種によるプレゼンテーション

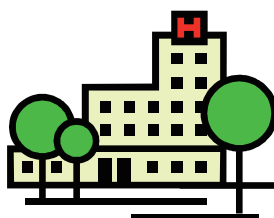
病院ではいろんな職種の人たちが働いているんだなあ…



美味しかった？



真剣に取り組んでいます



部門別体験（看護：救急）



AED を使って「1,2,3…」



# ようこそ！四国中央病院へ

(平成25.6～11月採用者)



【氏名】：合 田 恵  
 【職種】：看護師(外来)  
 【趣味】：音楽鑑賞  
 【自己PR】 8月から勤務することになりました。少しでも早く仕事に慣れるよう、日々精進していきたくと思っています。分からないことばかりで皆様にご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、皆様に色々とお教え頂きながら頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



【氏名】：松 岡 千 尋  
 【職種】：看護師(病棟)  
 【趣味】：読書・音楽鑑賞  
 【自己PR】  
 人生で初、地元脱出で愛媛県にやってきました。こちらの地理など、わからないことがたくさんあるので、皆さん、いろいろと教えてください。宜しくお願いします。



【氏名】：加 地 有 希  
 【職種】：看護師(外来)  
 【趣味】：温泉めぐり  
 【自己PR】  
 7月から外来で勤務させて頂いています。4歳と1歳の娘がいます。分からない事も多く、みなさんにご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、一生懸命、前向きに頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



【氏名】：尾 崎 共 代  
 【職種】：看護師(病棟)  
 【趣味】：ダイビング・釣り  
 【自己PR】  
 5月より勤務させて頂くことになりました。慣れない環境のため、しばらくはスタッフの方々に迷惑をかけると思いますが、よろしくお願致します。



【氏名】：井 川 奈 津 季  
 【職種】：看護師(病棟)  
 【趣味】：旅行・ウォーキング  
 【自己PR】  
 5月から勤務することになりました。慣れるまでに皆様にご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願致します。



【氏名】：山 崎 美 香  
 【職種】：看護師(外来)  
 【趣味】：子供の少年野球の応援  
 【自己PR】  
 10月から勤務させて頂くことになりました。患者様一人一人に丁寧に向き合いたいと思っています。向上心を忘れず、頑張りたいと思いますので、よろしくお願致します。



【氏名】：白 石 雅 子  
 【職種】：看護補助者(病棟)  
 【趣味】：スポーツ  
 【自己PR】  
 6月から勤務することになりました。全く初めての職種なので、皆様いろいろ教えていただきながら、1日も早く仕事を覚えられるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願致します。



【氏名】：三 好 由 紀  
 【職種】：看護補助者(病棟)  
 【趣味】：バスケットボール  
 【自己PR】  
 9月から勤務することになりました。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、個性を活かして元気いっぱい頑張りますので、どうぞよろしくお願致します。



【氏名】：藤 原 真 央  
 【職種】：外来補助者  
 【趣味】：ショッピング  
 【自己PR】  
 6月から勤務することになりました。1日でも早く仕事を覚えて、皆様のお役に立つことができる様、頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



【氏名】：森 實 杏 子  
 【職種】：外来補助者  
 【趣味】：子供と色んな遊び  
 【自己PR】  
 6月から勤務することになりました。一日でも早く仕事を覚えて頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

# 新任職員紹介



【氏名】：大 西 真路美  
【職種】：看護補助者(センター)  
【趣味】：読 書  
【自己PR】  
このたび、三島医療センターで勤務  
させていただくことになりました。皆  
様のお役に立てるよう、努力してい  
ります。ご指導のほど、よろしくお願い  
いたします。



【氏名】：旭 秀 美  
【職種】：看護補助者(病棟)  
【趣味】：DVD鑑賞  
【自己PR】  
10月から勤務させていただくこ  
とになりました。新しい職場で戸惑うこ  
ともあると思いますが、早く仕事を覚え  
て皆さんの力になりたいと思ってい  
ます。よろしくお願い致します。



【氏名】：竹 本 広 美  
【職種】：看護補助者(病棟)  
【趣味】：雑貨屋めぐり、手芸  
【自己PR】  
10月から勤務することになりまし  
た。1日でも早く仕事を覚えられるよう  
頑張りますので、皆様ご指導よろしく  
お願いします。



【氏名】：川 口 聡 子  
【職種】：薬剤助手  
【趣味】：編み物  
【自己PR】  
11月より薬剤助手として勤務させ  
ていただくことになりました。病院で  
のお仕事は初めてですが、少しでも早  
く仕事を覚えて皆様のお役に立てる  
ように日々努力し、頑張りたいと思っ  
ています。どうぞよろしくお願い致しま  
す。



## ■表紙のことば

四国中央市の秋祭りといえば太鼓台。太鼓台といえば金糸飾りですね。

この金糸飾り、太鼓台ごとに千差万別で個性のカタマリ。図柄・大きさ・年代・金糸の色合  
いに至るまで、すべて違います。

ほとんどは専門の職人さんが縫いますが、中には自分たちの手で縫い上げるところも。それ  
が親の代からこの代へ、また孫の代へと受け継がれます。

近年は多くの地区で新調が進み、太鼓台が華やかになりました。その反面、昔ながらの年代  
物が少なくなり、なんだか寂しい気もします。

長い年月と手間暇をかけて縫い上げられた金糸飾りには、魂があります。

機会があればじっくりとご覧になってみてください。

## ■編集後記

「記録的な猛暑」と言われた夏のあと東の間の秋が終わり、また寒い冬がやってきました。思  
えば去年の冬も実は「記録的な豪雪」と言われていたのです。

人間は勝手なもので、夏になれば冬がいいと思ひ冬になれば夏がいい…などと考えてしま  
います。さて今年はどうなるのでしょうか？ 毎年流行するインフルエンザと感染性  
胃腸炎（嘔吐下痢症）がなければ冬も悪くはないのですが。この二つの感染症には十分注意し  
てください。

(浜田 信一)